

国際ビジネス用地球局設備

インテルサットでは、小型アンテナをビルの屋上などに設置、衛星に直接アクセスし、国際間デジタル通信を行う IBS (INTELSAT Business Services) サービスを欧米では 1984 年 (昭和 59) より、日本では 86 年末から開始した。KDD は、この IBS 実用化に先立ち、実験を目的とした地球局を 84 年 (昭和 59) に開発した。開発した設備は、インテルサット標準 E1 地球局の仕様に準拠し、直径 3.3m のアンテナ、無線通信装置とデジタル端局装置で構成された。実験結果は良好で、符号化率 1/2 の誤り訂正方式は IBS システムの標準方式として採用された。

出典：KDD 社史